

高齢者・障害者によるICT活用の推進に関する研究会

高齢社会と今後の ICTビジネスの可能性

博報堂
エルダービジネス推進室
阪本

第2回高齢化世界会議

20年に一度開催される高齢社会に関する国連の会議
NGOフォーラムと政府間会議(参加国186か国)が開催
このうちNGOフォーラムに参加。世界の代表的なNPO・NGOが
参集したため、グローバルな傾向およびキーワードが見えてきた。

1. 全体テーマ

すべての世代のための社会をめざして

2. 高齢社会へのグローバルなキーワード

グローバルに共通なキーワードは次の
2点にあることが浮かび上がった。

Quality of Life
Citizenship



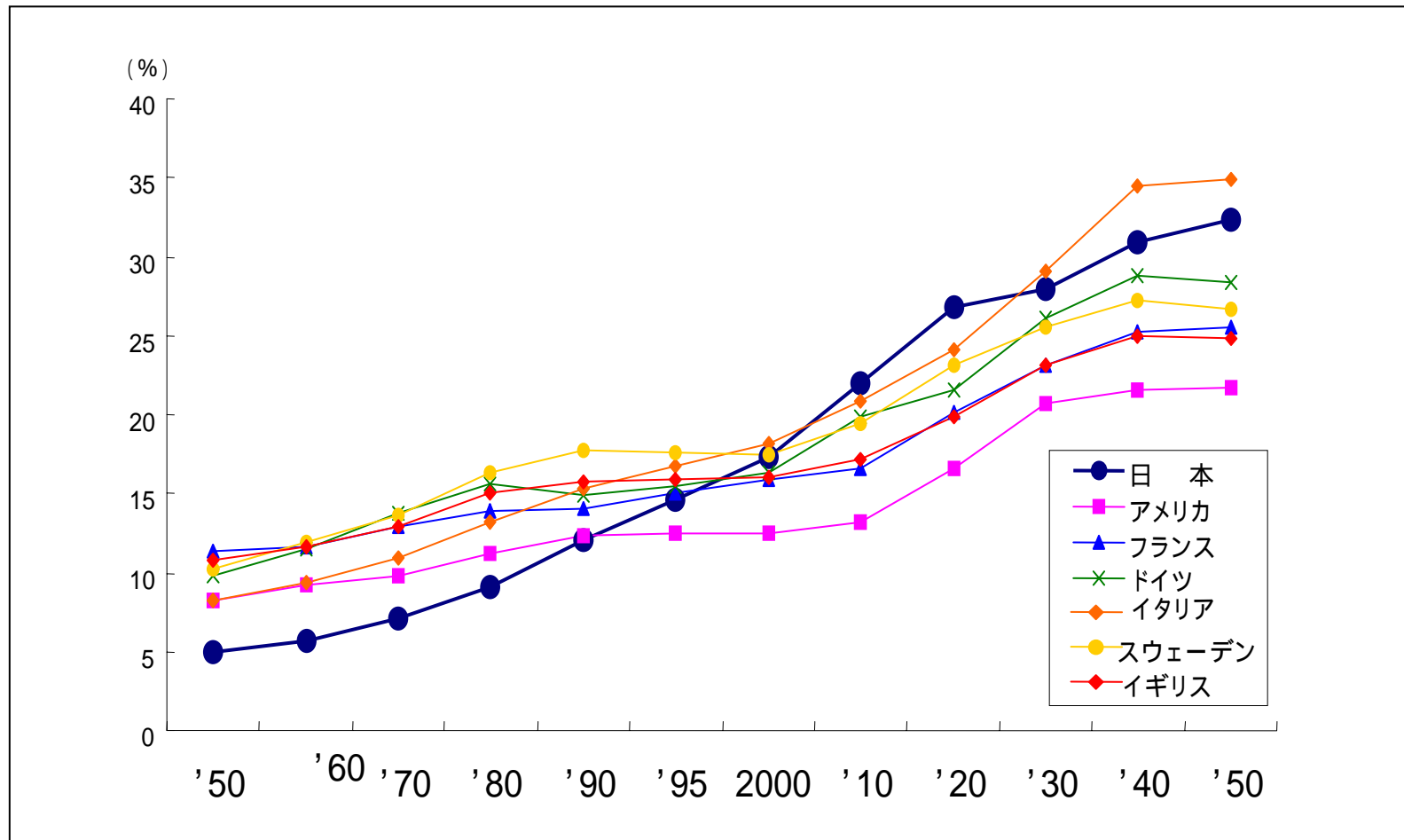
2003/03/03

国連のCSW(女性地位向上委員会)の47回目セッション

イギリスのOWN(Old Womens Network)が高齢者のICT (Information
Communication Technology)をテーマにサイドイベント 日本の状況も説明

わが国は世界に先駆けて高齢化が急速に進展する

先進主要国の65歳以上人口割合：1950～2050年



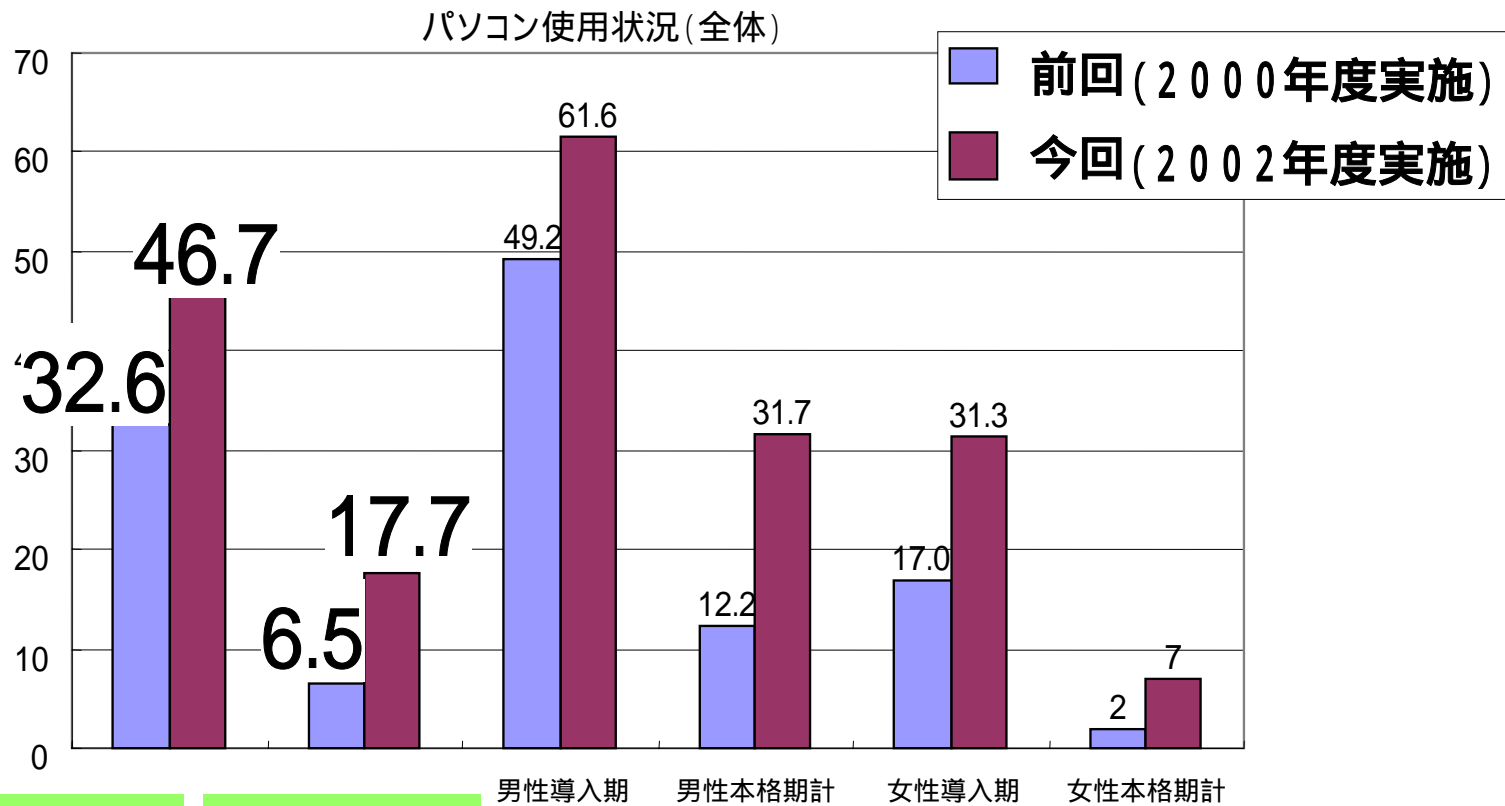
資料:Un, The Sex and Age Distribution of World Population: 1996による各年央推計人口に基づく。
ただし、日本は総務庁統計局『国勢調査報告』及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』
(平成9年1月推計)による人口(中位推計値)。

.ICT利用状況

2年間で、65歳以上の
パソコン使用率は2.7倍
携帯電話使用率は2倍

* 博報堂HOPEサーベイ(50代以上回答最高齢84歳)データより

**パソコン使用率：50～64才は46.7%（1.4倍）
65～84才は17.7%（2.7倍）**

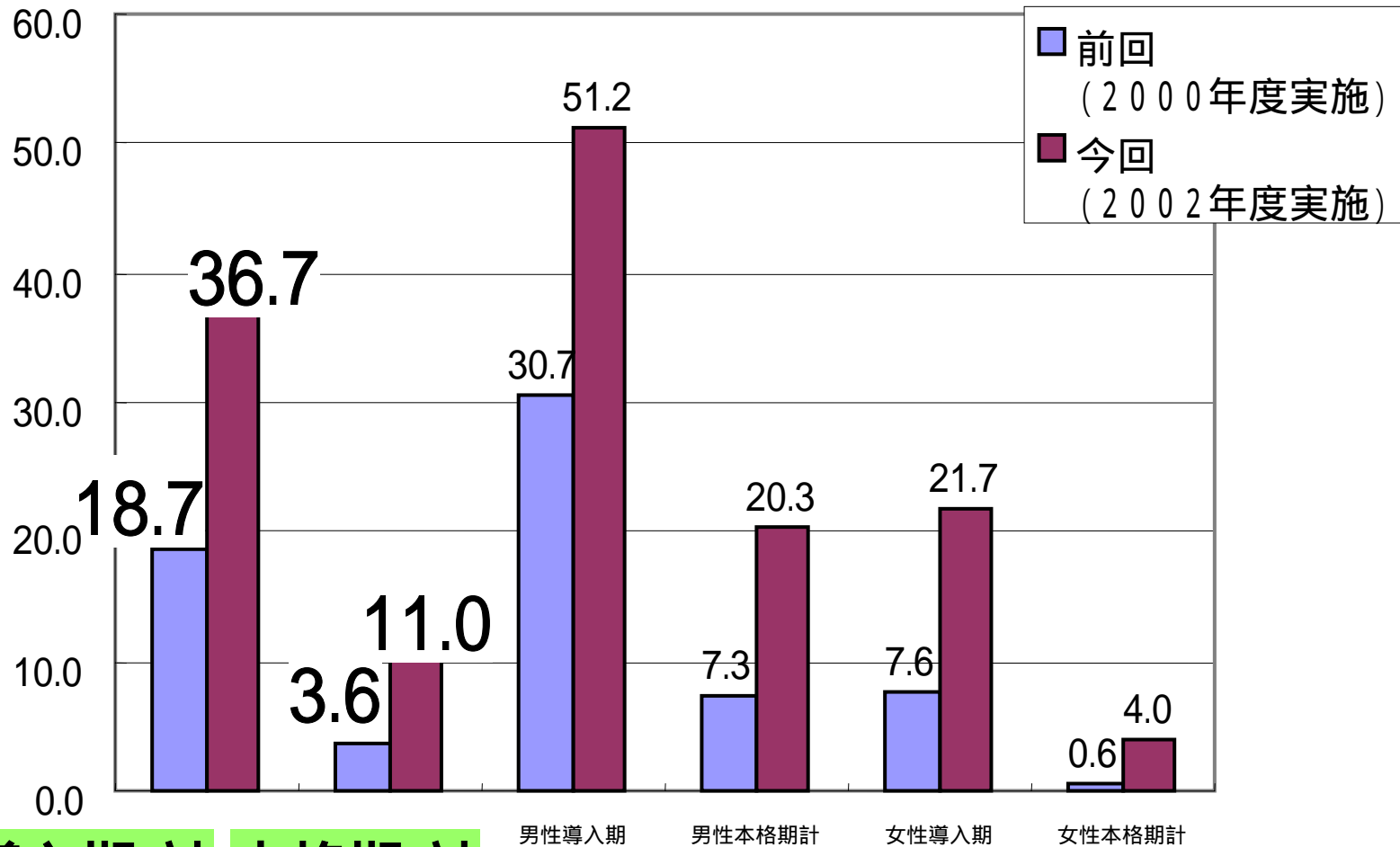


**エルダ-導入期計
50～64才**

**本格期計
65～84才**

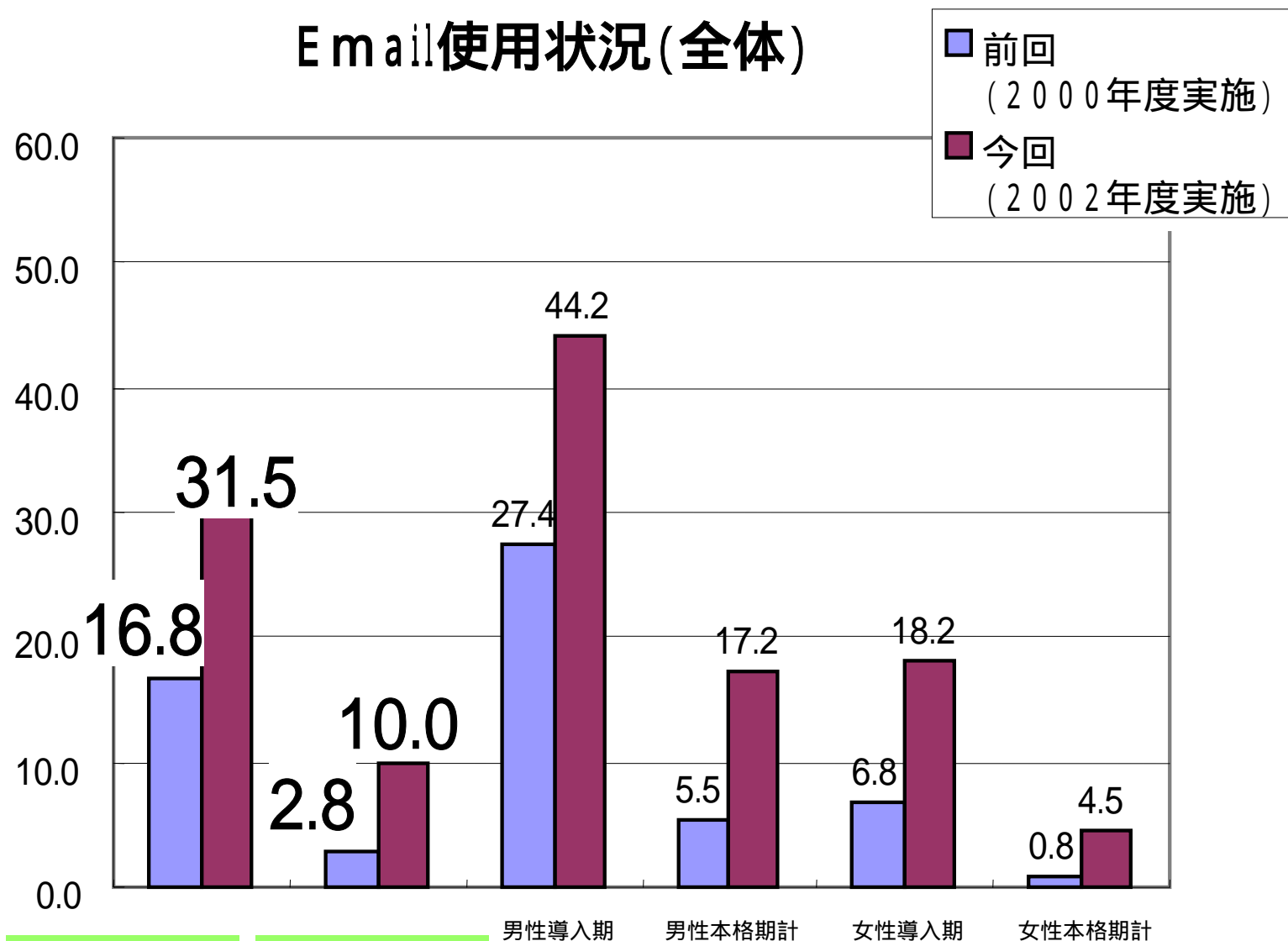
* 博報堂HOPEサーベイより

インターネット使用状況(全体)



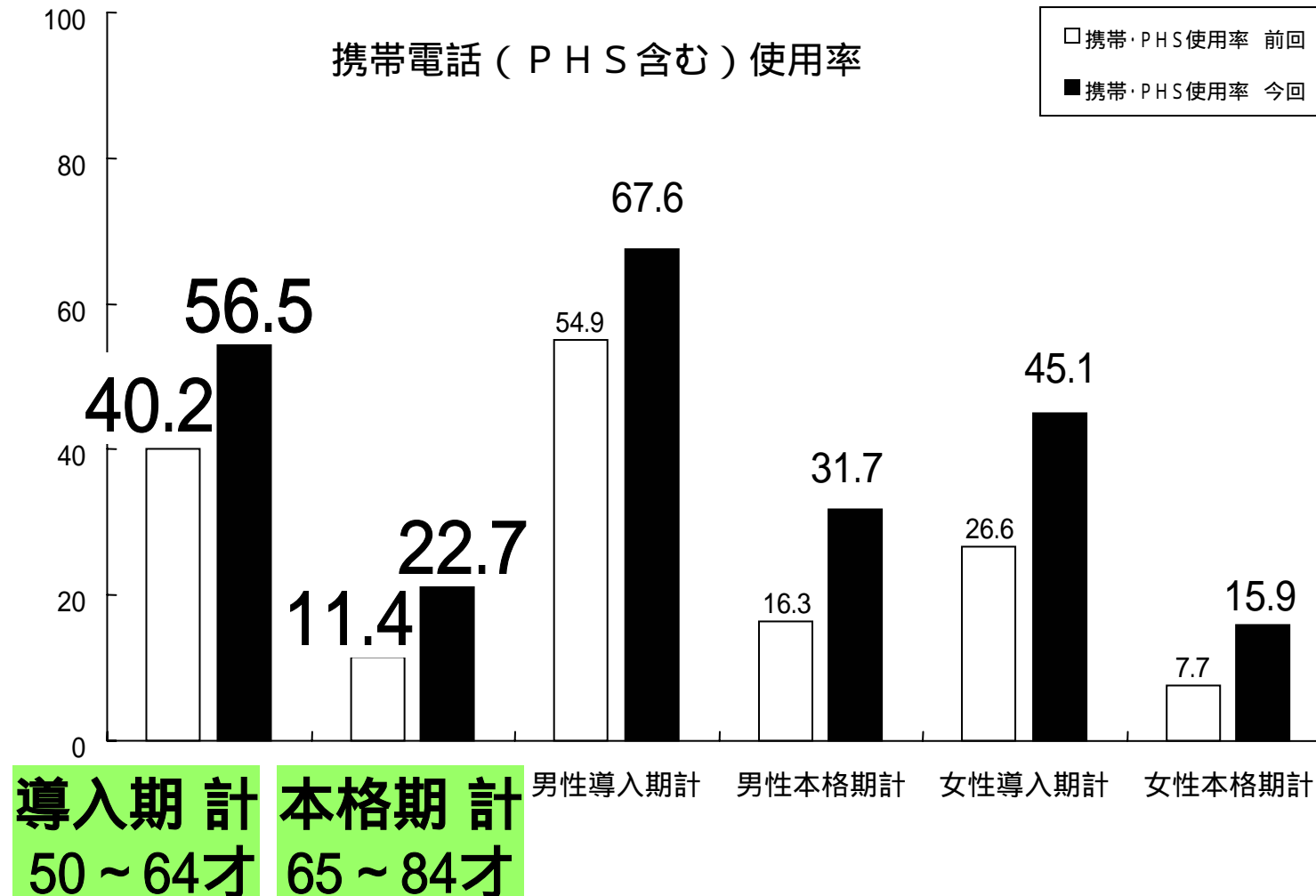
導入期計 **本格期計**
50~64才 **65~84才**

E mail使用状況(全体)

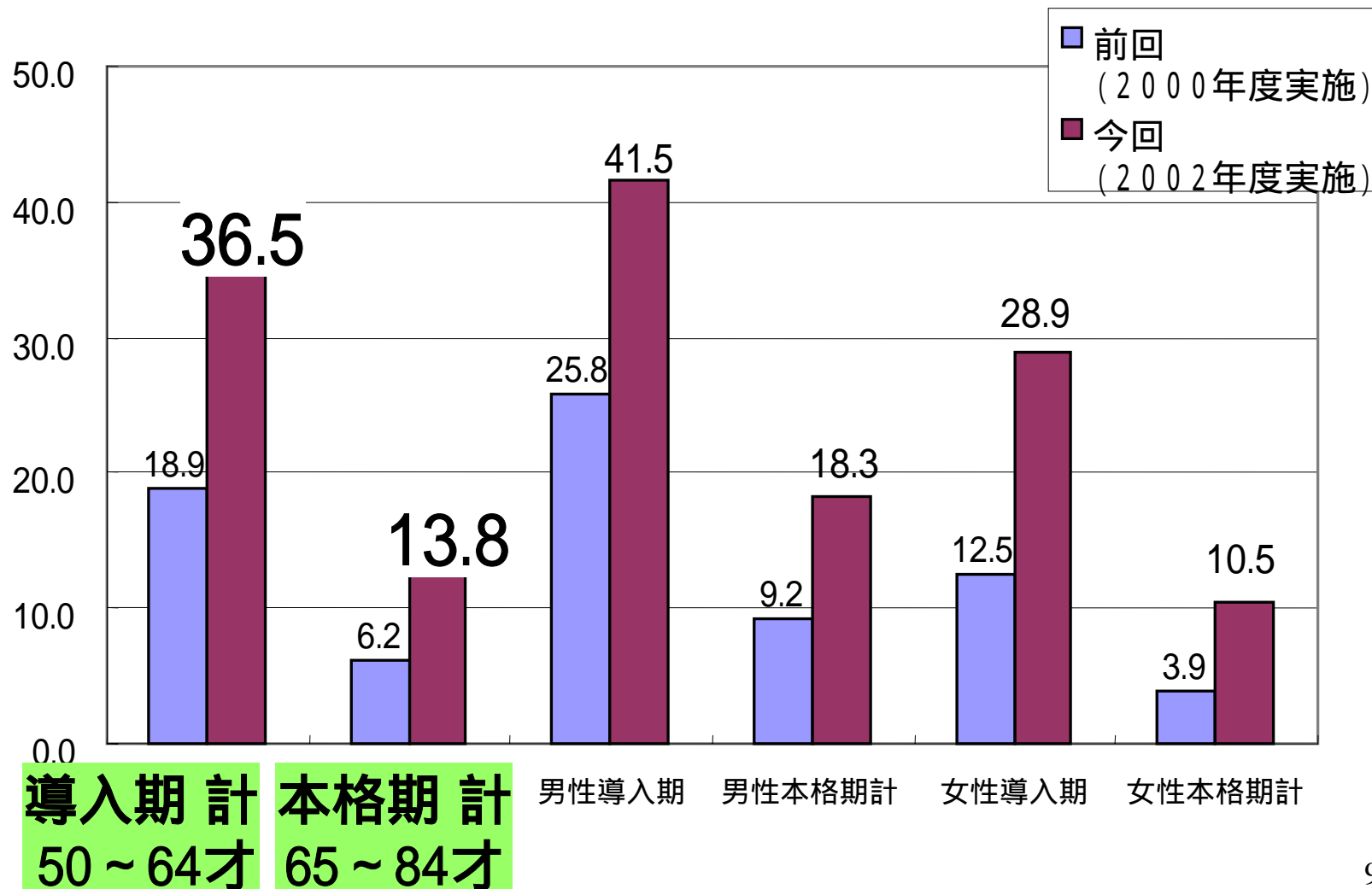


導入期計 **本格期計**
50~64才 **65~84才**

携帯電話使用率：50～64才が56.5%（1.4倍） 65～84才が22.7%（2.0倍）



携帯メール使用状況(全体)



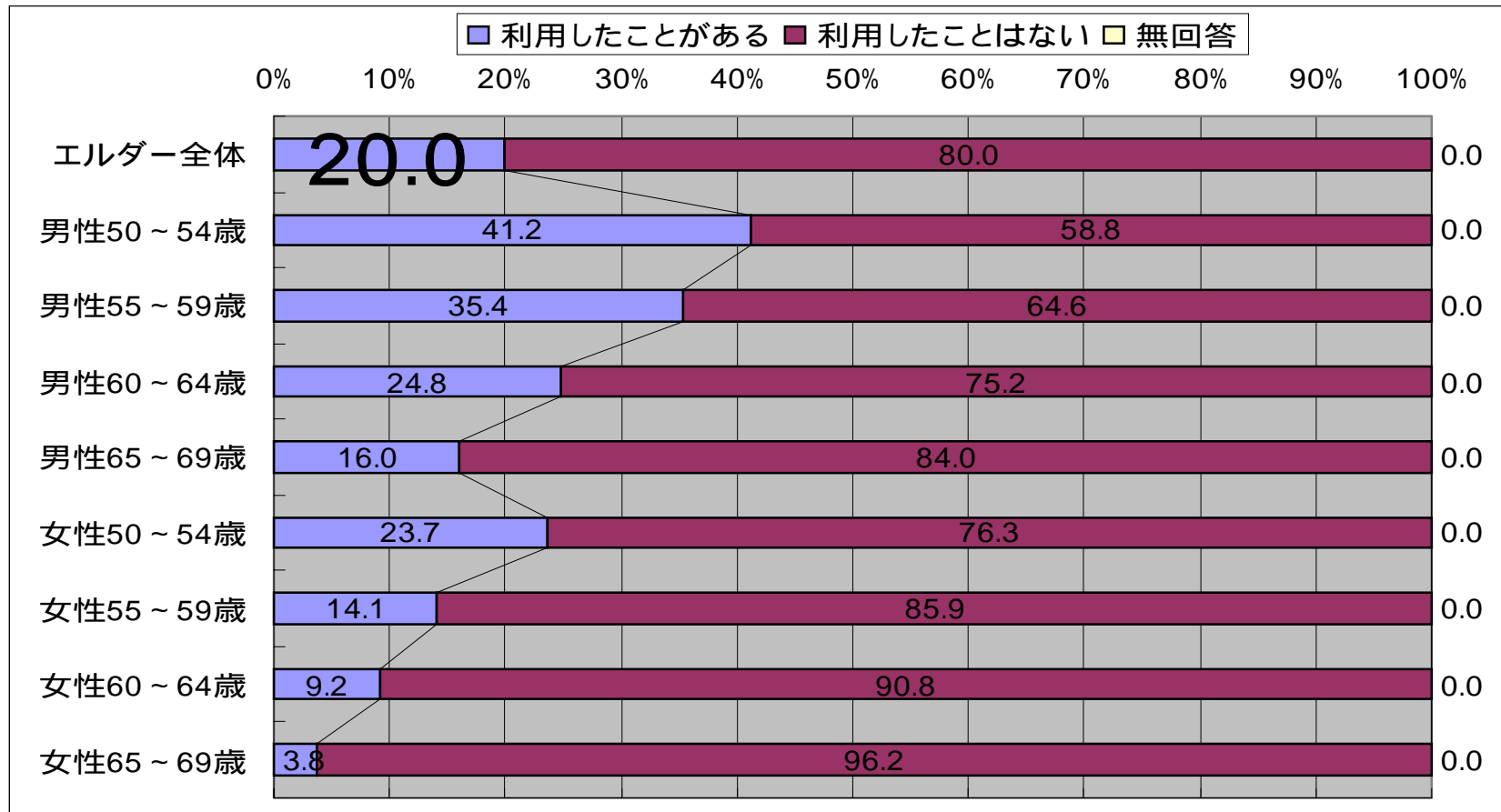
・ 継続利用意向

インターネットも携帯も
継続利用意向は
きわめて高い

* 博報堂エルダー HABIT(50～60代)データより

インターネットの利用状況と利用意向

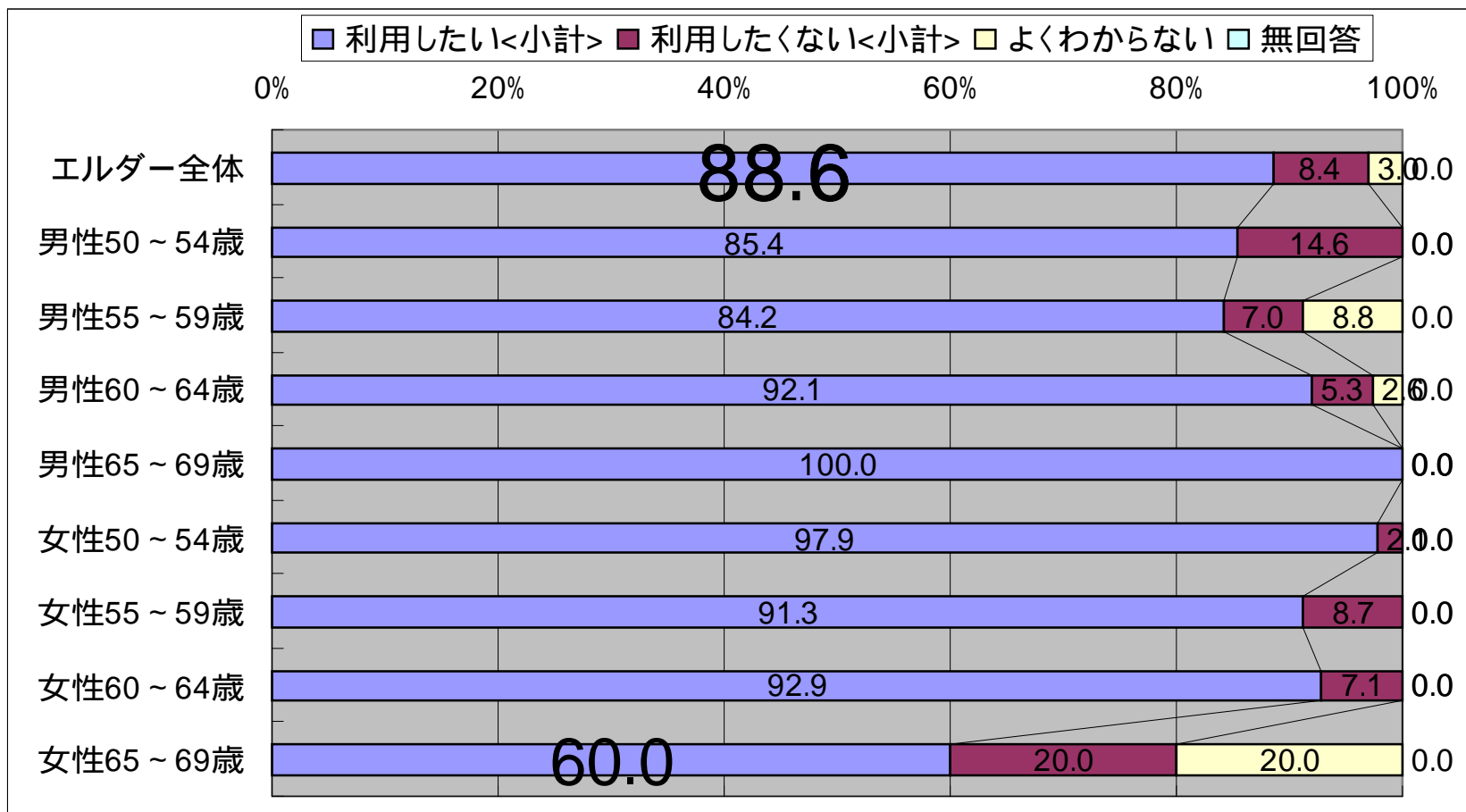
< 現在の利用状況・全利用状況 > 50～60代



* 博報堂エルダー HABIT(50～60代)2001年データ

インターネットの利用状況と利用意向

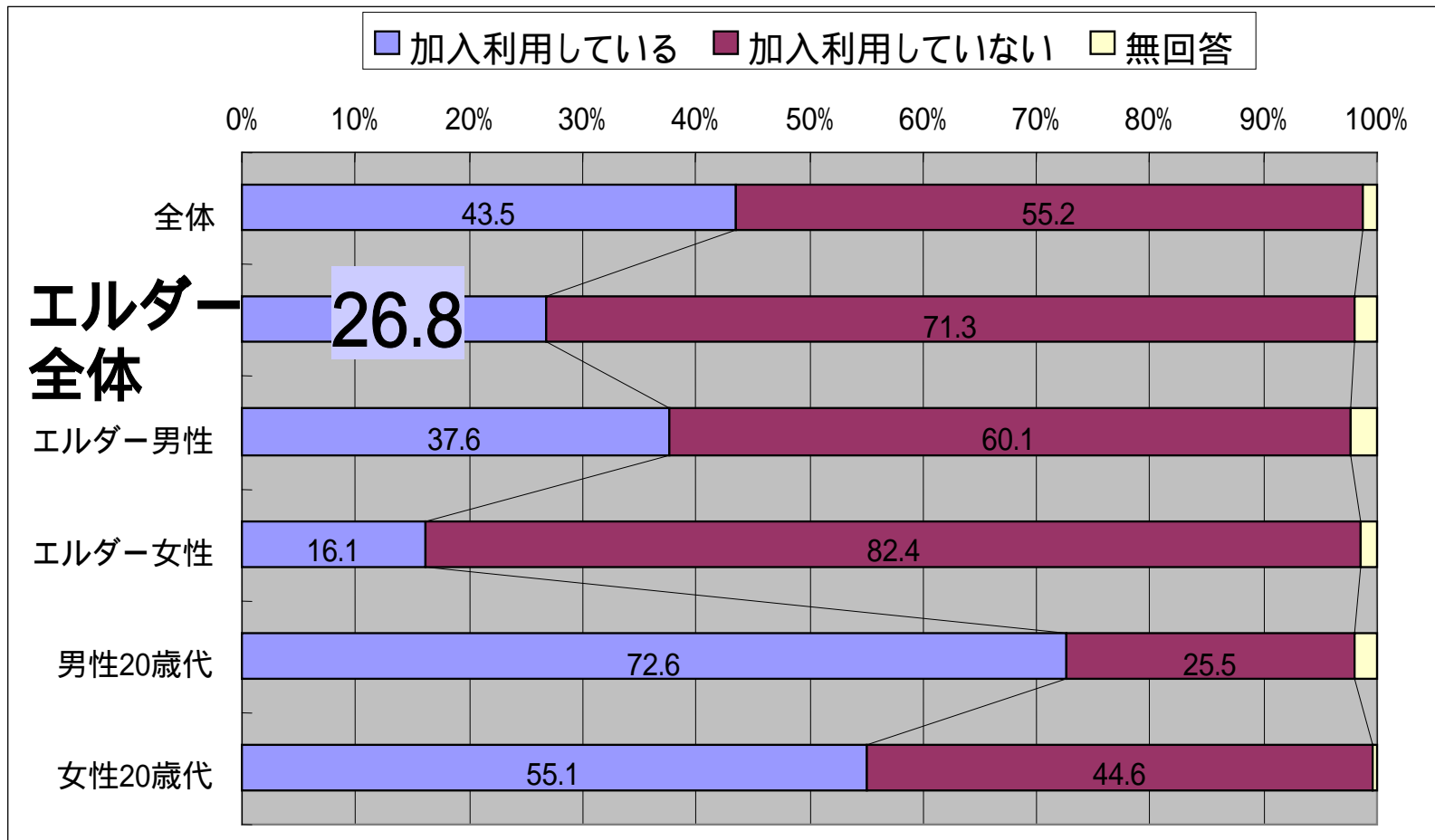
< 今後の利用意向 (利用者中) >



*エルダー HABIT 2001年データ

携帯電話加入状況と加入継続意向(他年層比較)

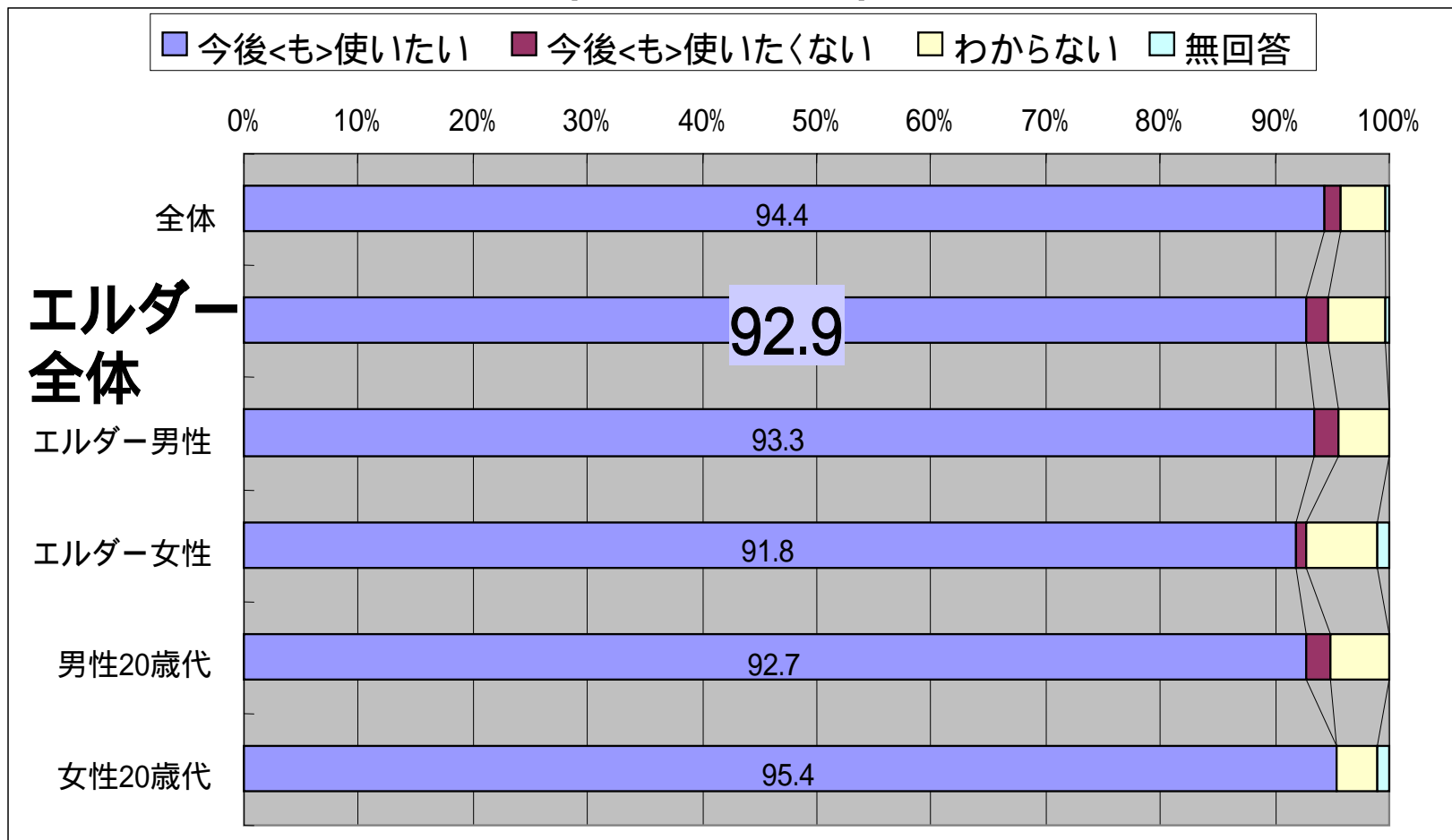
< 現在の利用状況 >



* エルダ-HABIT1999年データ

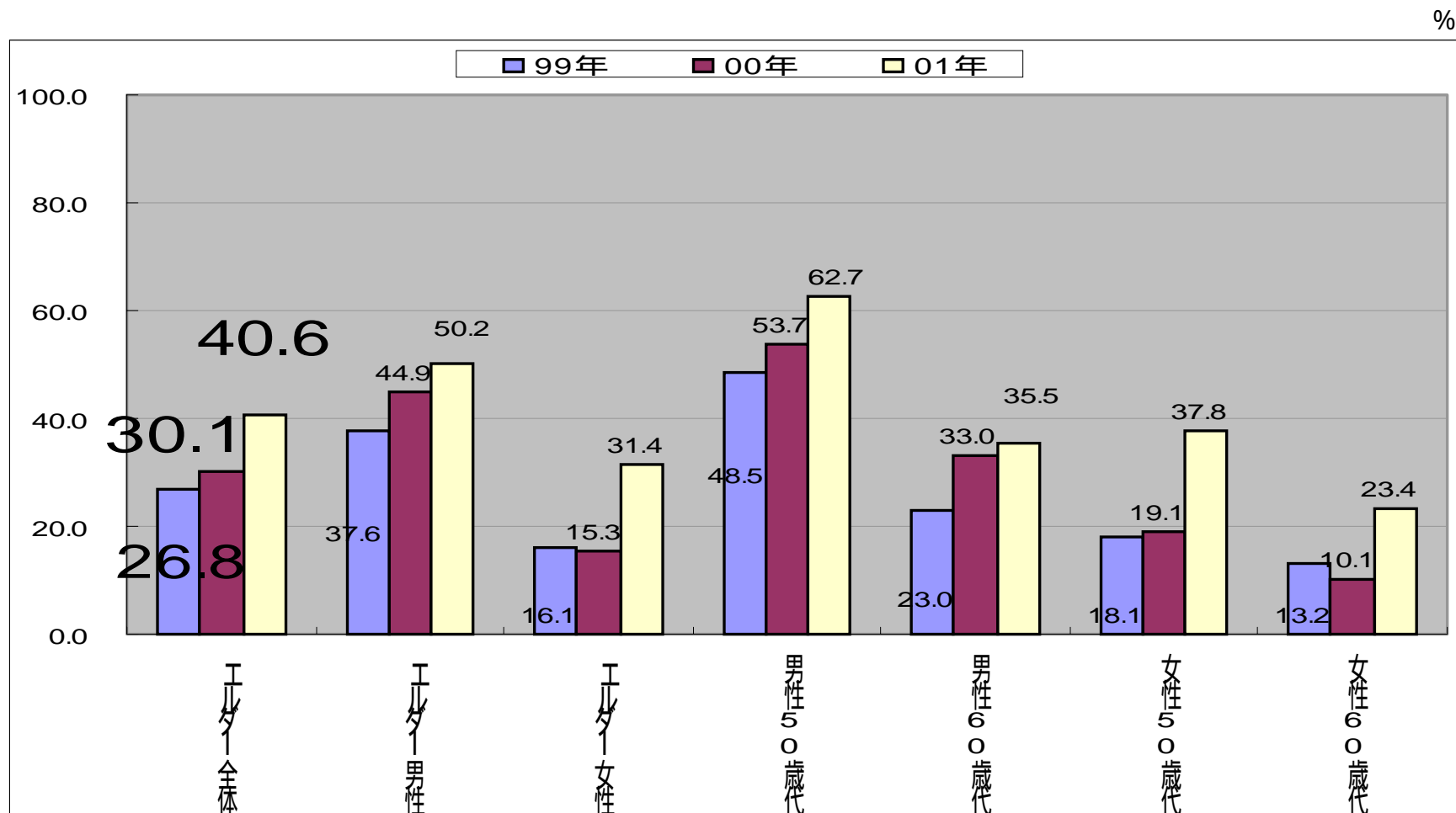
携帯電話加入状況と加入継続意向(他年層比較)

< 今後の利用意向(加入者中) >



*エルダー HABIT1999年データ

携帯電話の保有状況の変化(99年・00年・01年)



* 但し、99年は携帯電話加入状況

エルダー情報生活

インターネットも携帯も使ったことがないから縁遠い
いったん使えば、自分の道具



エルダーに身近な道具にする

- ・コミュニケーションで
- ・商品開発で・一見やすく・操作しやすく・手になじむ
ex.おばあさんでも簡単に操作できるメールボード

エルダーは爆発しかけている

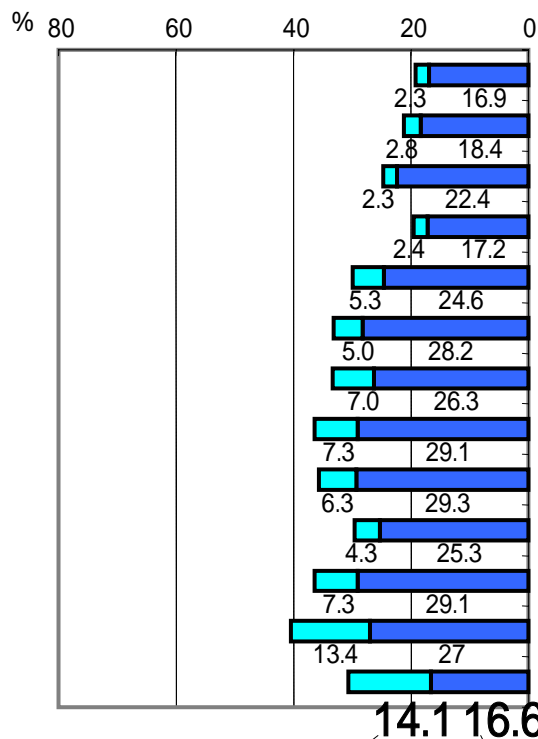
. ICTの高齢者への工夫度

次のものは、高齢者の方々のために、
どの程度工夫されていると思いますか？

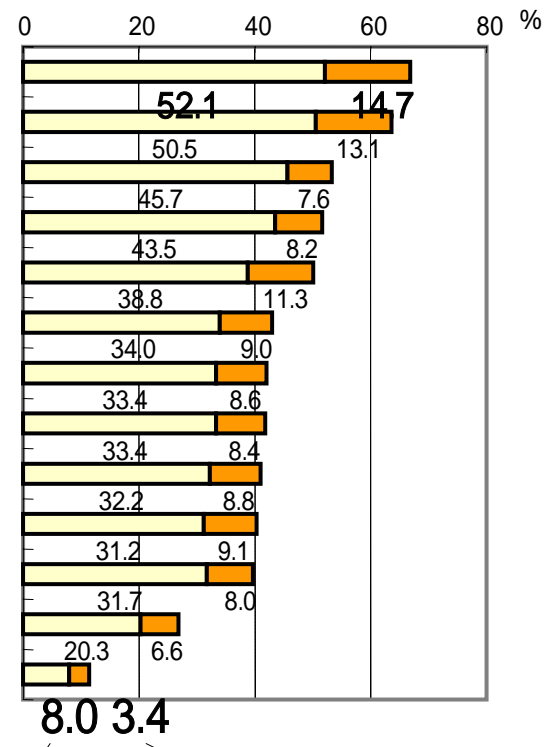
(2000年)

工夫されていない

工夫されている



- トイレ
- 風呂
- 衣料品
- ベッドや寝床
- テレビ
- 冷蔵庫
- エアコン
- 掃除機
- 電子レンジ
- 乗用車
- ガスコンロ
- ビデオ
- パソコン



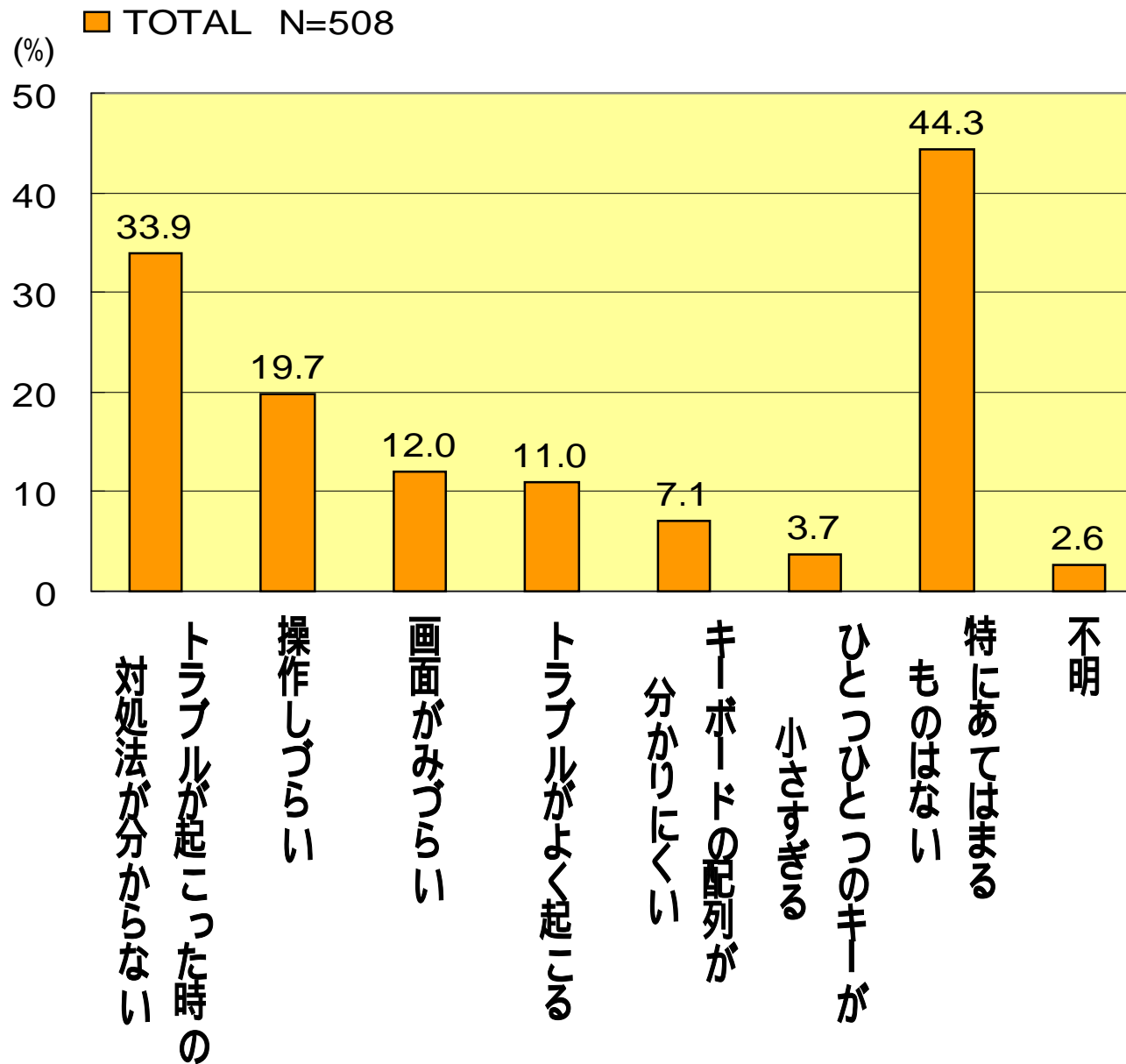
全く工夫されていない

あまり工夫されていない

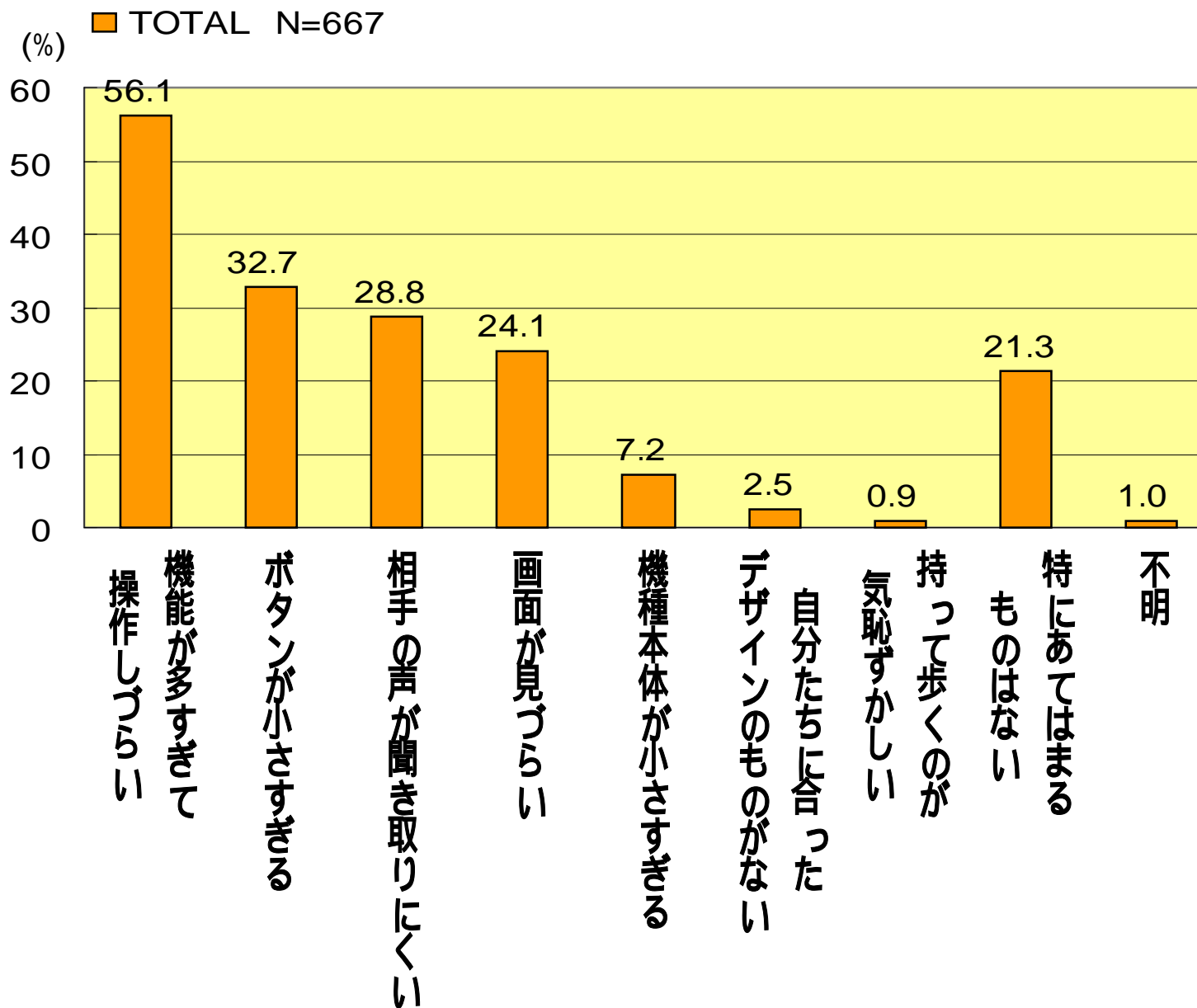
ある程度工夫されている

よく工夫されている

パソコンでのインターネットやEメールについての意見



携帯、PHSについての意見



・いま求められること

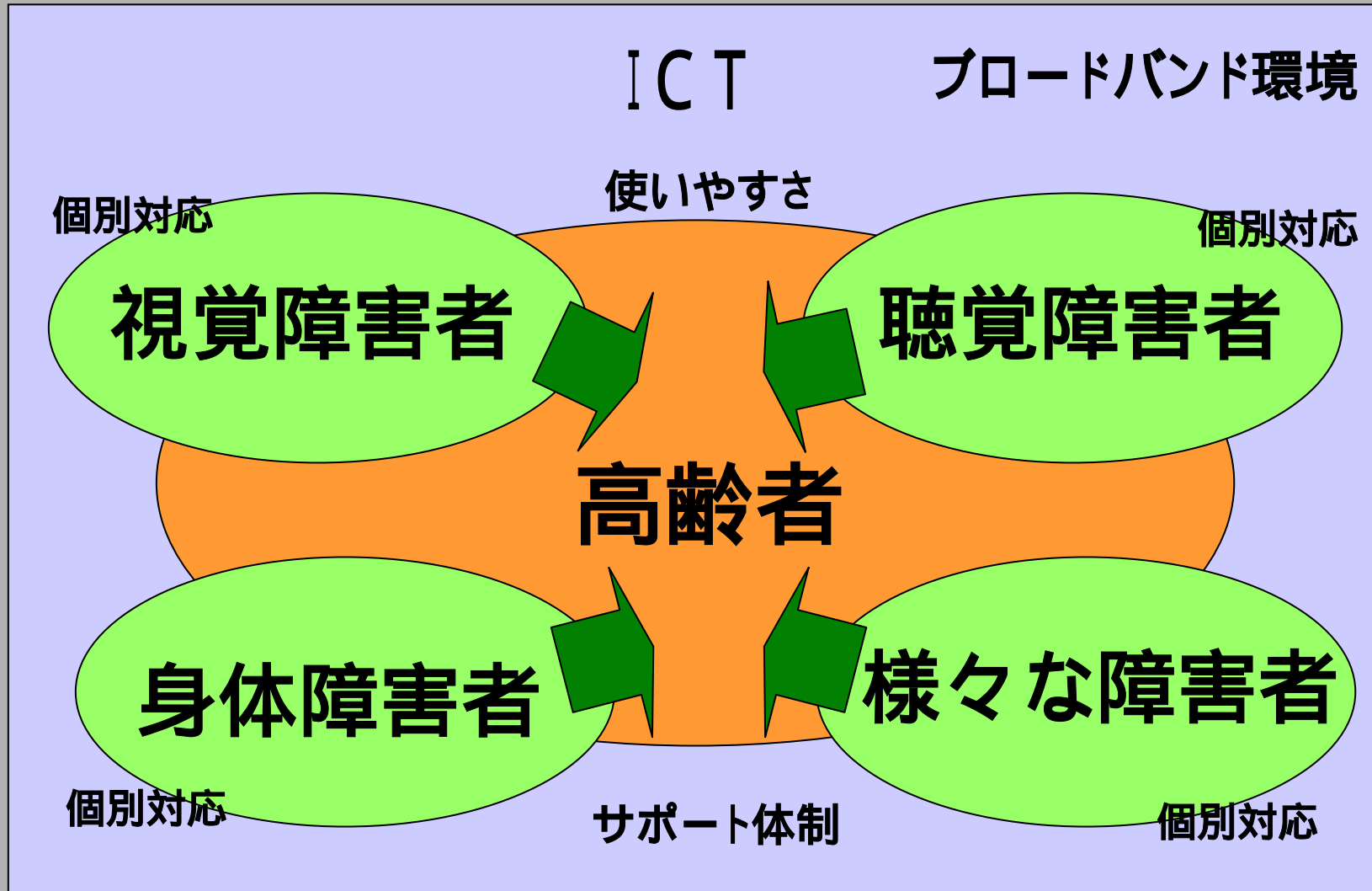
パソコン・携帯をテレビ・ラジオに

- よりフレンドリーなメディアへ -

・使いやすさ

・ユビキタス環境 メディアミックス

デジタル放送環境



使いやすさ

障害者への対応で培われたものを高齢者へ
マシンが大の苦手な人でも使いやすいものへ

サポート体制

高齢者のインストラクター(生きがいも兼ね)

ex. 富士通ラーニングメディア ITアドバイザー

4000人

ICTイノベーション

UD & ブロードバンド環境 & デジタル放送

ex. モデルづくり

世界でもっとも使いやすいユビキタス環境へ²³

. これからの可能性

高齢者ICT環境整備の意義

博報堂エルダー生活者パネル“HOPEサーベイ” - 50代以上の調査パネル -

ニューエルダー

* 活性化尺度・8項目 *

【身体】

- ・よく眠れる
- ・身体が健康である

【心】

- ・喜びをもって毎日を送っている
- ・今を生きているという実感がある

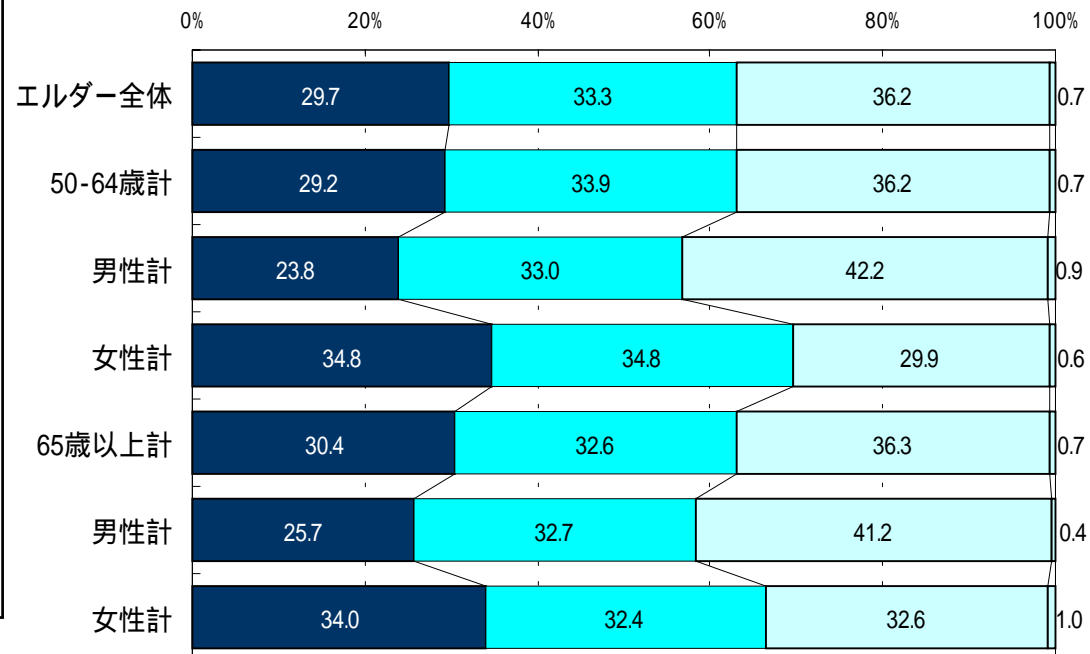
【情報】

- ・好きな趣味や勉強をしている
- ・社会や時代の動きに関心がある

【縁】

- ・友達や話相手に不自由しない
- ・自分が必要とされ愛されていると感じる

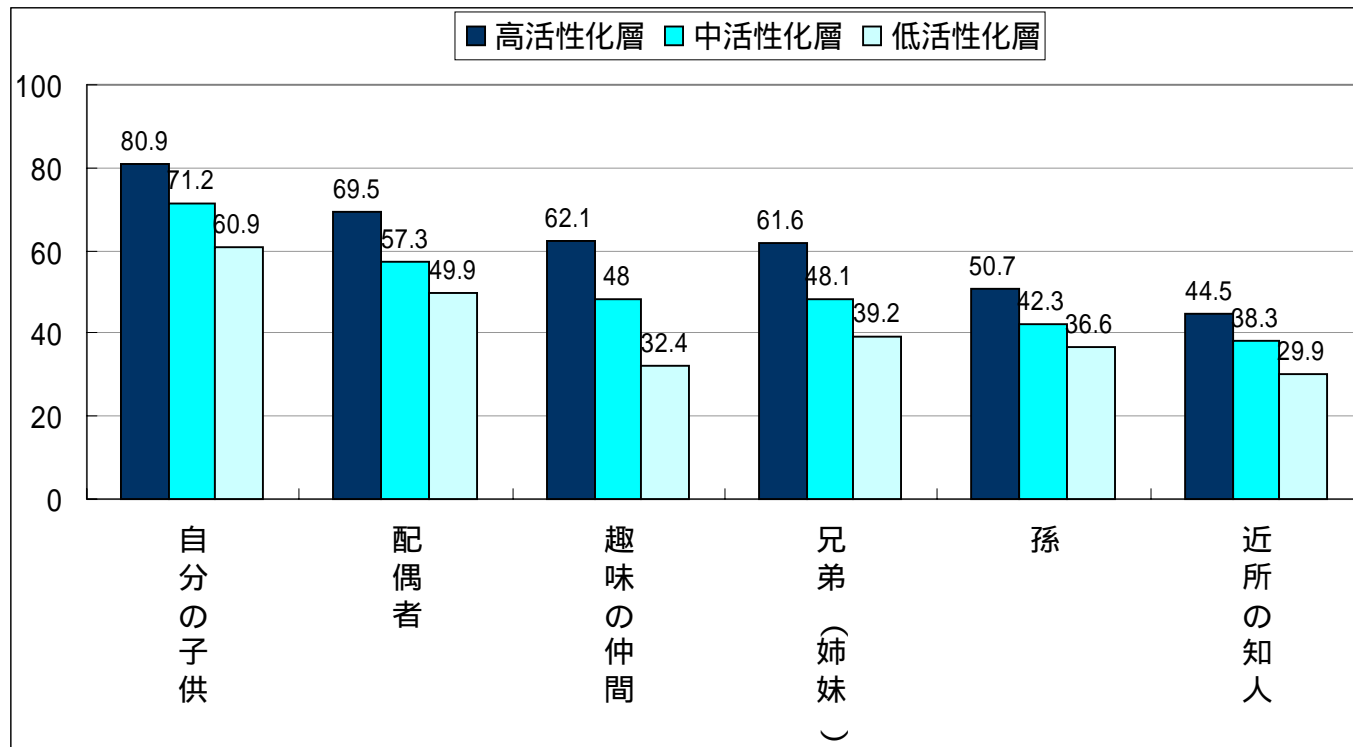
■ 高活性(5個以上)=ニューエルダー ■ 中活性(3-4個) □ 低活性(0-2個) □ 不明



1. より広い「関係」を楽しむ： 家族だけでなく「仲間」との関係も楽しみ。

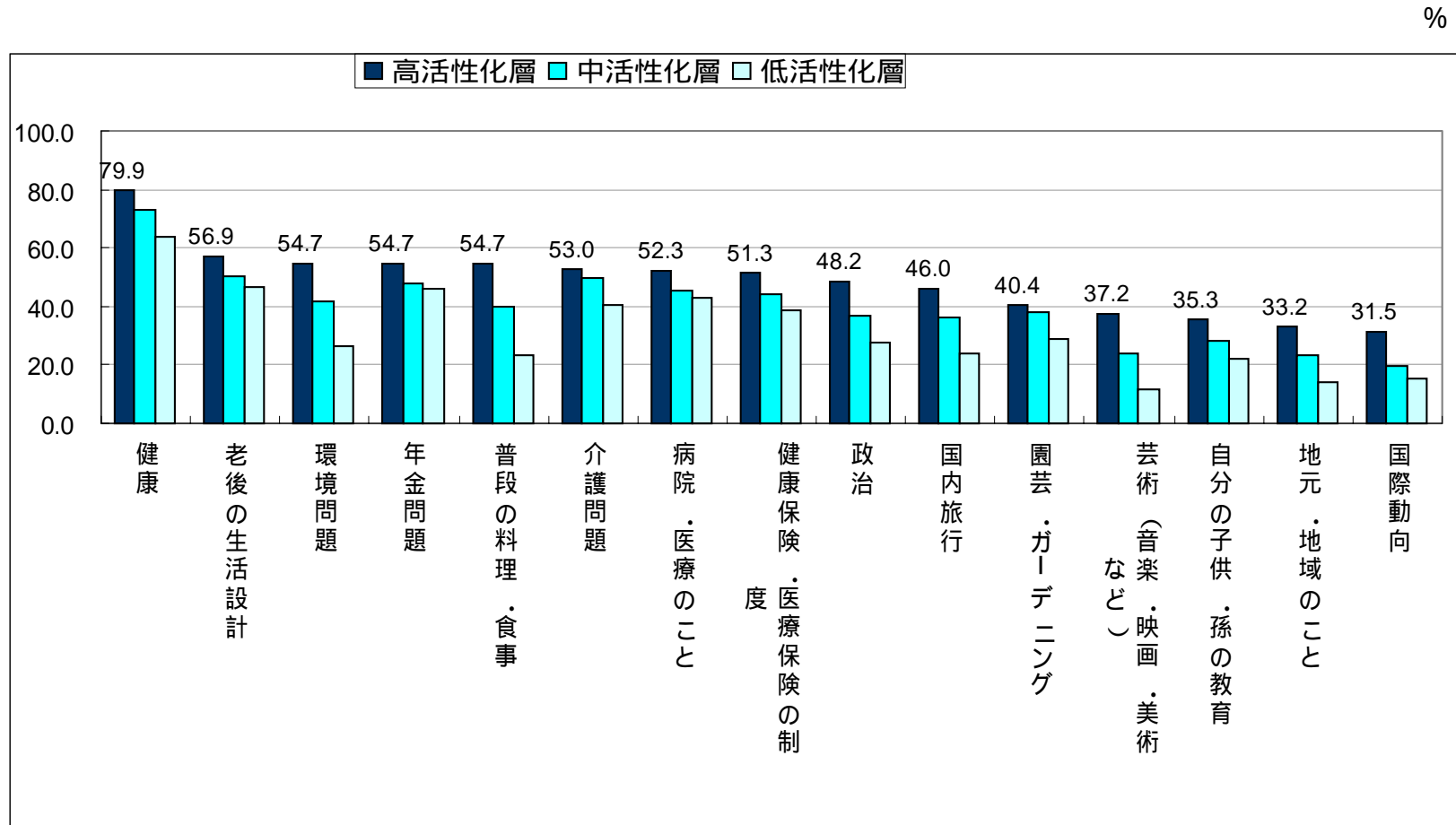
< 現在楽しみにしているコミュニケーション >

%



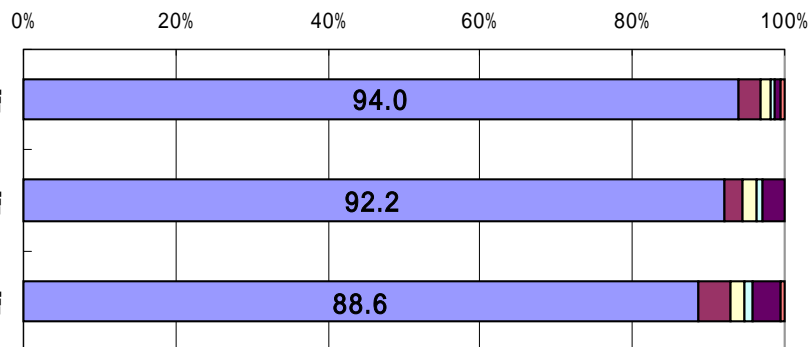
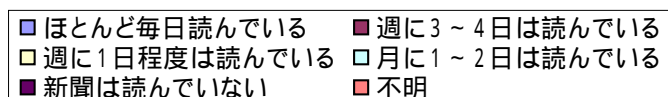
2. 「健康・社会・自分の楽しみ」に関心： 「環境」や「趣味・旅行・料理」に関心高い。

< 現在の興味関心事 >

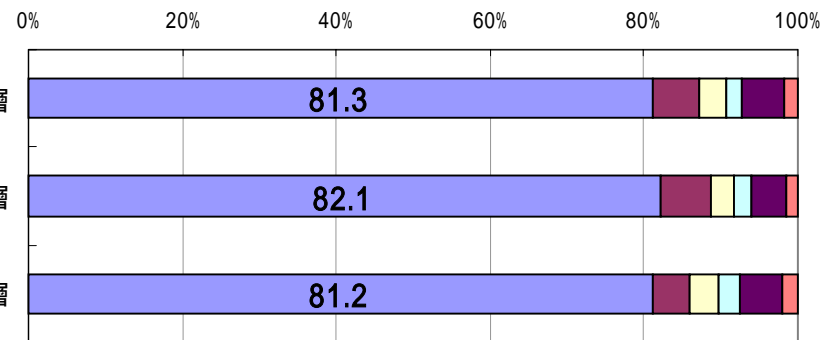
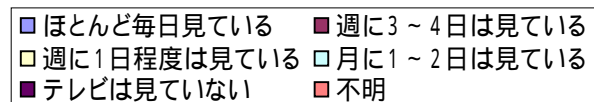


3 . 既存のマスメディアへの接触度について 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ

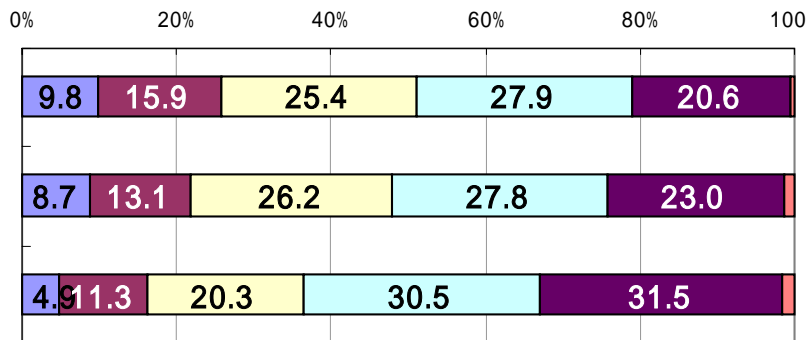
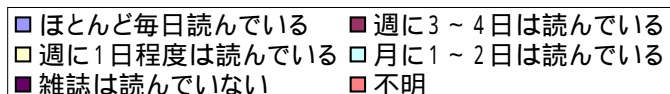
<新聞>



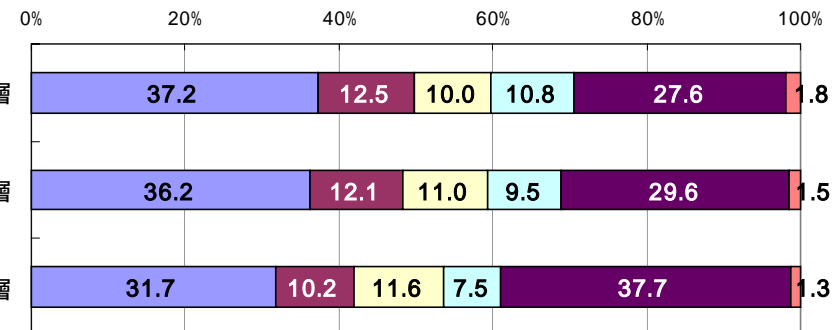
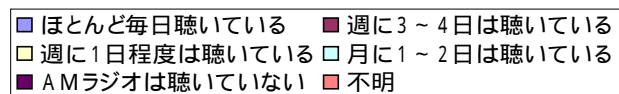
<テレビ>



<雑誌>

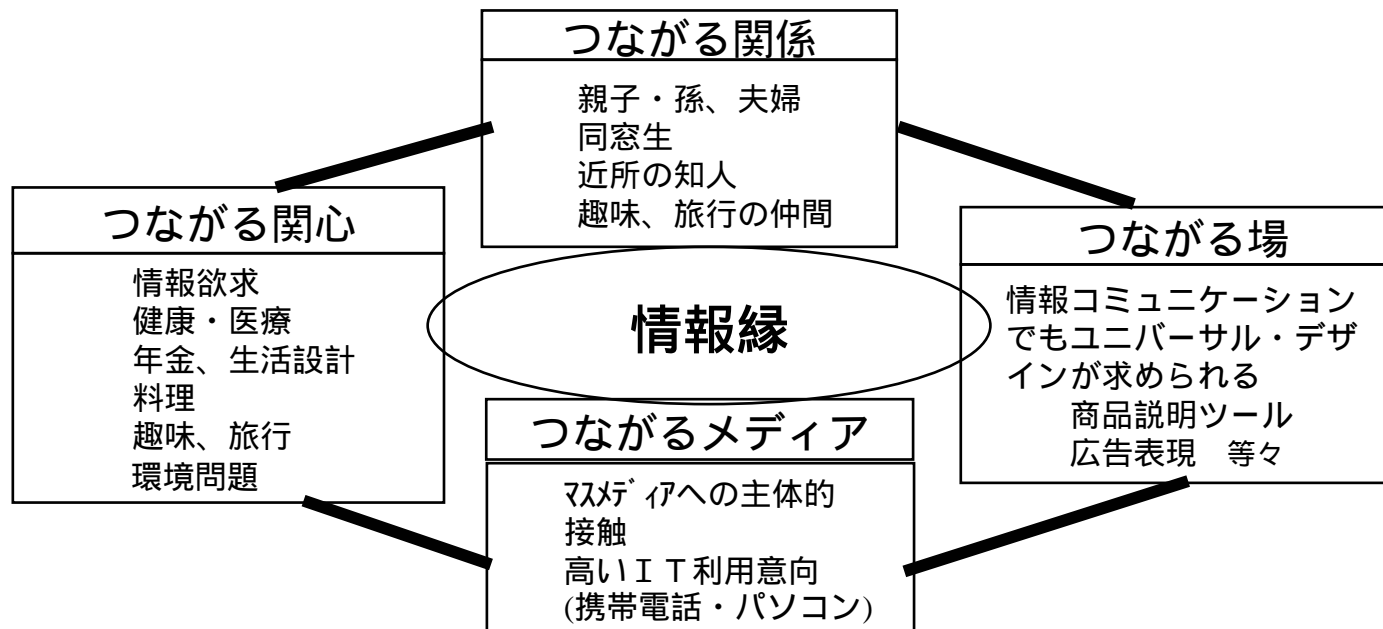


<ラジオ>

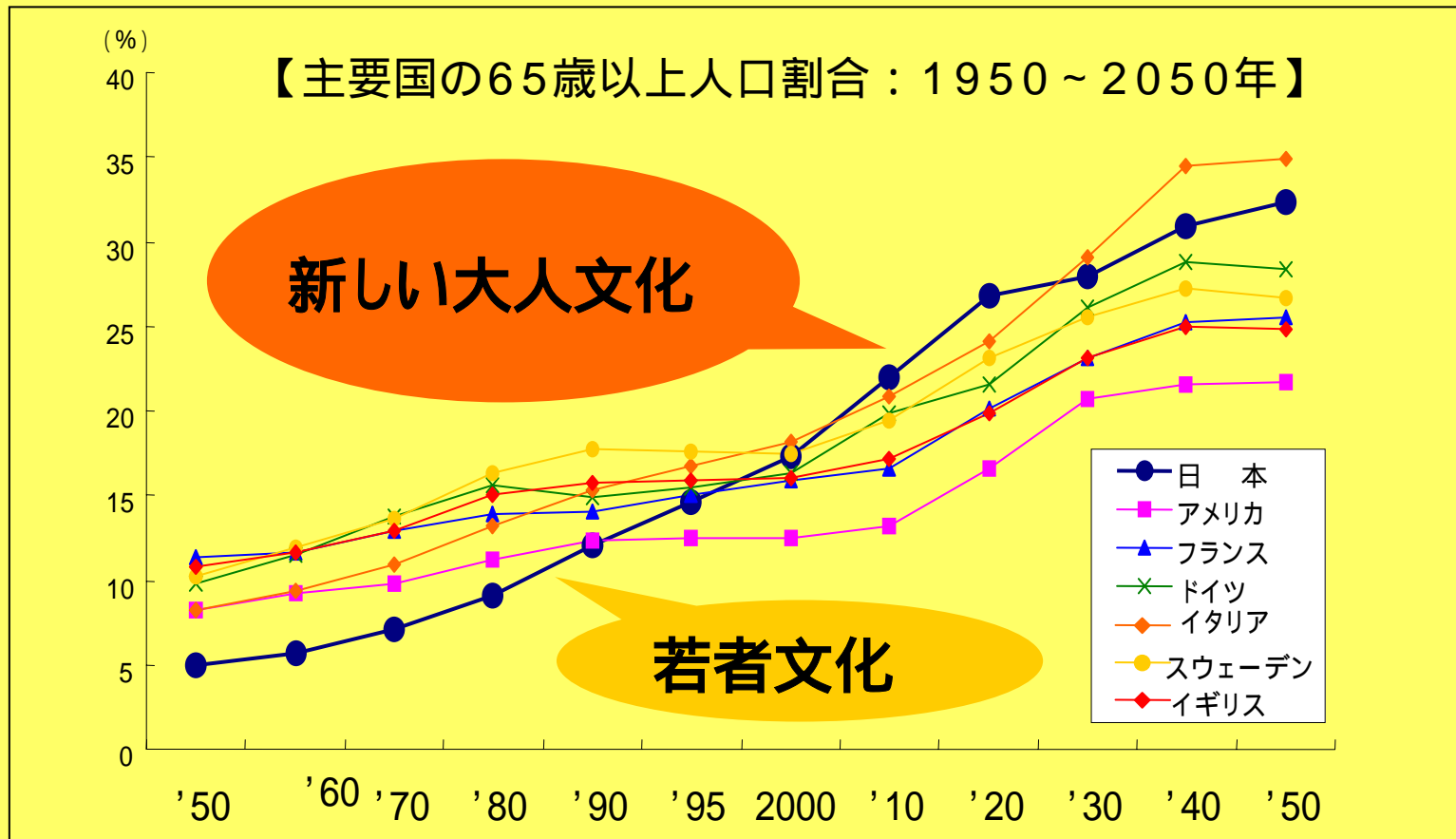


情報縁

「マスメディアあるいは携帯電話・パソコンなどICTを活用」し、「健康・環境・趣味」など「関心事についての情報をメディアから入手・交換」しつつ「仲間づくり」をする。彼らの新しい縁 = 「情報縁」づくりを応援するという考え方です。



ICTが支えるヒューマンな新しい大人文化で 日本が世界のロールモデルに



資料：Un, The Sex and Age Distribution of World Population: 1996による各年央推計人口に基づく。ただし、日本は総務庁統計局『国勢調査報告』及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』（平成9年1月推計）による人口（中位推計値）

P.F.ドラッカー

日本はふたたび世界をリードすることができる。

それは、ほかの国に先駆けて高齢化が急速に進展するからである。
エルダー世代が社会的な仕事に関与し、新たな知識労働を生み出すこと
によって達成される。